

# ～働くことを軸とする安心社会の実現へ～ 連合は民主党を応援します!

# 連合新潟

第262号 2012.12.15  
日本労働組合総連合会  
新潟県連合会  
〒950-8558 新潟市中央区新光町6-2  
TEL 025(281)7555  
FAX 025(281)7556  
発行人 齋藤敏明  
題字 宮崎風穂  
定価 1部5円

購読料は会費に含む

## 11万人の決断

第四六回衆議院議員選挙 東日本大震災をはじめ、一二月四日に公示され、一六日投票が行われます。この総選挙は、二〇〇九年八月に実現した民主党政権のこれまでの実績が問われる選挙です。

東日本大震災をはじめ、一二月四日に公示され、一六日投票が行われます。この総選挙は、二〇〇九年八月に実現した民主党政権のこれまでの実績が問われる選挙です。

活や働く環境の立て直しに つながる政策に道筋をつけました。

歴史を戻してはならない、政権交代の意義をもう一度思い起こし、すべての人が社会の中で自分の居場所と出番を見出すことができる社会づくりに向けて、連合

新潟は、次の皆さんを推薦・支持しています。 ※小選挙区は、旧市町村で区割りされています。新潟県の区割りは、連合新潟のホームページで確認できます。

**第4区 推薦**  
**菊田まきこ**  
民主・前・43

事務所：〒955-0081  
三条市東裏館1-13-16  
TEL：0256-35-6066  
FAX：0256-35-6063

**第1区 推薦**  
**西村ちなみ**  
民主・前・45

事務所：〒950-0903  
新潟市中央区南万代町12-5 黒井ビル  
TEL：025-244-1173  
FAX：025-244-1183

**第5区 支持**  
**田中まきこ**  
民主・前・68

事務所：〒940-0043  
長岡市今朝白1-7-14  
TEL：0258-35-5000

**第2区 推薦**  
**わしお英一郎**  
民主・前・35

事務所：〒959-1251  
燕市白山町3-2739  
TEL：0256-61-0901  
FAX：0256-61-0902

**第6区 推薦**  
**つつい信隆**  
民主・前・68

事務所：〒943-0805  
上越市木田1-8-14  
TEL：025-522-5711  
FAX：025-522-7210

**第3区 推薦**  
**黒岩たかひろ**  
民主・前・46

事務所：〒957-0016  
新発田市豊町3-2-8  
TEL：0254-21-0700  
FAX：0254-21-0707

- ### 12月の主な活動
- 2日 第1回女性委員会
  - 6日 第1回労働条件委員会
  - 8日 土曜相談会
  - 11～12日 労働相談ダイヤル一斉キャンペーン
  - 18日 第1回政策委員会
  - 19日 第2回四役会議 第2回執行委員会
  - 27日 朝街宣



### 希望を持ちながら 安心して暮らせる 社会の実現を!

連合新潟は毎年、新潟県の次年度予算案ならびに事業策・制度の実現に向けた要請行動を実施しています。今年は一二月二九日に一分野二四項目の要望書を泉田県知事へ手渡し、意見交換を実施しました。

この要望書は連合新潟政策委員会が作りあげたものです。齋藤会長は「県内経済の発展と安定した雇用、そして子育てしやすい新潟県を

作するために労働団体として雇用政策が重要だと考えている。」と述べました。また今回は連合がすすめる「働くことを軸とする安心社会」へ向けた七つの政策課題に対し、県からも引き続き国への働きかけを要望しました。

私たち連合は労働団体として役割を果たしながら、行政や経済団体などへ「働くことを軸とする安心社会」に向けた要請行動を引き続き実施していきます。

## 暮らしやすい社会と 働きやすい職場をめざして

講演①「人と暮らしに優しい社会をめざして」をテーマに、元長野県労働協専務の原田さんよりライフサポートセンターとパーソナルサポートセンターの取り組みについて講演を頂きました。

講演②「連合政策・制度」の実現に向けた取り組みを



### 新春労働団体・友誼団体 「名刺交換会」

日時 2013年1月7日(月)  
午後3時30分より  
場所 ANAクラウンプラザホテル新潟  
会費 1人 7,000円

連合新潟は第二回ユニオントップスタディをテーマに、新潟第一法律事務所(連合新潟顧問弁護士事務所)と和田弁護士から、ハラスメントの判例をテーマに、元長野県労働協専務の原田さんよりライフサポートセンターとパーソナルサポートセンターの取り組みについて講演を頂きました。

講演③「職場におけるハラスメントの事例と解説」の実態をふまえた対応方法の質問が多く出されました。

職場のハラスメントを事例を挙げて講演の和田弁護士

